



# いちよう

# 安全講

あんぜんこう

諸事安全を祈願し大般若法要を執り行います。

お申込みの方には諸事安全（身上・家内・交通・旅行）を祈願した名入りのお守をお授けいたします。

講金二千円也（お守一体追加につき 500 円）：寺務所にて受付中



法要終了後には信徒会館大広間におきまして、日本舞踊五大流派の一つである西川流宗家、西川扇藏様による演舞が行われます。参加費は無料です。是非ご参加ください。

## 「答えは一つにみならず」

本堂部長 関口真允



先日、ボーイスカウトの研修に携わり、子供たちにとっては非日常の体験を味わってもらいました。坐禅、陽も上がらない中での掃除、正座での食事。

その中で様々な質問や感想をこちらから問いたところ十人十色の答えが返ってきました。私たちはつい、正しい答えを与えようとする。迷わせないことが優しさだと思ってしまう。しかし、仏教では答えは一つではないと教えます。

『法華経』に解かれる方便の教えは、仏が人それぞれの力や縁に応じて異なる道を示したと明かしています。入口は違っても、皆それぞれの歩みの中で仏の智慧へと近づいていくのです。

人生は選択の連続です。どちらが正解か分からず、立ち止まることもあるでしょう。大人であっても当然迷います。けれどもその迷いの中で、神様や仏様を信じ、祈り、考えて一歩を選ぶ。その姿こそが、子供にとっての道しるべとなります。

大切なのは、唯一の正解を示すことではなく「考え続ける姿勢」を示すことではないでしょうか。違いを認め、他者の歩みも尊びながら自らも成長していく。その姿勢が「答えは一つではない」ことを示していると思います。

やがて子供たちが自分の道を選ぶとき、思い出すのは言葉よりも、日々見てきた大人の姿です。だからこそ私たちは今日もまた信をよりどころに歩むことが必要です。完璧を目指さず揺れながら前を向く歩みが、次の世代への灯となるでしょう。

### 朝まいり会

4月1日～7日 午前8時～8時半 会費：500円也  
皆様と一緒に「大聖歓喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日お出でになれなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

### 写経の会

4月12日(日) 午前10時、午後1時 会費：500円也  
お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

### 日曜勤行

4月12日(日) 午前9時 参加費：無料  
初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

### 合同大般若法要

4月25日(土) 午前11時 法要料：5,000円也  
皆様と一緒に上げする御礼の法要です。

### 座禅の会

4月25日(土) 午前9時半～10時半 参加費：500円也  
\*座禅の会は予約不要になりました。

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。  
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

ライブ配信のご案内 | 御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。  
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。



### 信徒旅行のご案内

5月30日(土)、栃木県にありまいつるさんまんがんじす真言宗智山派 出流山満願寺にご参拝させていただきます。

弘法大師御作の千手観音菩薩をご本尊とする坂東三十三観音第十七番札所です。本年は、12年に1度のご本尊御開帳という大変貴重な年にあたります。平素は拝することのできない御尊容にご縁を結ぶまたとない機会ですので、どうぞお誘い合わせのうえでご参加くださいますようお願い申し上げます。参拝先寺院のホームページはこちらからご覧ください。



参加概要や行程の詳細については現在準備を進めております。決まり次第あらためてご案内申し上げますので、ぜひご予定にお含みおきください。

### お参り作法説明会

4月4日(土)朝まいり会終了後、副住職より信徒会館大広間におきまして**朝まいり会員限定**でお参り作法説明会を開催いたします。礼拝作法の読み方や、所作を初心の方にも分かりやすくご説明いたします。是非ご参加ください。



### 用語 コラム

### 「稲荷信仰」 水谷洗祐

この「いちょう4月号」が発行される頃は稲荷祭です。「稲荷(いなり)」は、もともと五穀豊穡を祈る信仰でありました。その名は「稲が生(な)る」「稲成り」に由来するといわれ、古来より農耕と深く結びついてきました。春に種をまき、夏に育て、秋に実りを迎える、その営みを無事に全うできるよう見守る神さまとして、稲荷は人々の暮らしの中心にあったのです。稲荷信仰と深い関わりをもつのが、二月最初の午の日である「初午」です。和銅四年のこの日に稲荷大神が鎮座したと伝えられ、以来、初午は五穀豊穡を祈る大切な節目となりました。農作業を始める時期と重なる旧暦初午は、自然の巡りと人の営みが結びついた祈りの日でもあります。やがて時代が移り変わると、稲荷信仰は農業だけにとどまらず、商売繁盛や家内安全、技芸上達など、生活全般を守る信仰へと広がっていきました。商家の軒先や町中に稲荷社が多く見られるのも、その名残といえるでしょう。稲荷といえば狐を思い浮かべますが、狐は神そのものではなく、稲荷神の使いとされています。口にくわえた鍵は殺倉を守る鍵、宝珠は神の霊徳を表すものとされ、それぞれが信仰の象徴です。また、日本では神仏習合の歴史の中で、寺院の境内に稲荷社が祀られることも多く、仏さまの教えとともに人々の心の拠り所となってきました。当山境内に祀られる稲荷尊も、歓喜天信仰とともに、日々の実りや働きへの感謝を静かに受け止めてきたのでしょう。稲荷信仰を通して、食と働きに感謝し、実りの尊さを忘れずに過ごしてまいりましょう。

### 「浴油講」

2月20日(金)、浴油講大般若法要を厳修いたしました。当日は皆様よりご志納いただいた胡麻油を尊天様にお供えし、日々お守りいただいているご加護への感謝を込めて法要を執り行いました。ご奉納の胡麻油は、今後毎朝の浴油祈禱にて大切に用いさせていただきます。尊天様への変わらぬ信心とご厚志に、心より御礼申し上げます。



### 「(株)たけした事務所様の厄除け法要を行いました」

2月14日(土)(株)たけした事務所様の厄除け法要を執り行いました。同社におかれましては三十年以上にわたり毎年ご参拝いただいております。本年もそのご関係の皆様を除災招福をご祈願いたしました。当日は百名を超える方々がご参列され、それぞれが真摯に手を合わせる姿が印象的でした。長年続く尊いご縁に深く感謝申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご多幸を心よりお祈り申し上げます。



### 「ボーイスカウト修行体験」

2月14日から15日にかけて、浅草寺を拠点に活動されている台東第7団のボーイスカウトの皆さんが当山を訪れました。滞在中は僧侶の指導のもと、静かに心を整える坐禅に取り組み、普段とは異なる緊張感の中で自らと向き合う時間を過ごしました。一泊の修行体験では、翌朝に本堂の清掃などの作務を行い、その後は作法を守りながら齋食を体験しました。寺院ならではの規律ある生活を通して、仲間と協力する大切さや感謝の心を学ぶ、実り多い二日間となったようです。今回の経験が、今後のボーイスカウト活動はもとより、それぞれの日常生活の中でも活かされていくことを願っております。

### ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

### 祈禱料

- 別座祈禱 壱万二千元(一週間)
- 浴油祈禱 四千元(一週間)
- 華水供 六百元(一日)

### 法要案内

- 当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。
- 百味供養 法要料 八万円**  
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。
- 大般若法要 法要料 五万円**  
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。
- 自動車加持 法要料 壱万円**  
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

